

20181108 組織拡大行動 4日目

本日も文句なしの晴天！日差しが厳しく！夏？と思うほどの暑さです。朝から施設にお巡りさんが…… なにやら緑地体に通帳の束が捨てられていたようです。以前にも、クリーンキャンペーンのときに財布が捨てられていたのを思い出します。やはり、防犯カメラは必需品ではないかと思えます。現在は施設中と入り口付近にやっと設置されたと聞きます。毎回のゴミ収集と焼却を考えれば、施設の至るところに防犯カメラは必要です。

本日は、6+1人手の行動になりました。急遽行動員の変更により、今回の最多数の行動員となりました。今日は暑すぎてトラックのカーテンはしっかり閉まっています。お昼頃にはと思いましたが人出が不調。昼食休憩のために入ってくるトラックを狙い『安全パンフ』を配布しました。

本日の行動者

今井 勇 (ヤマト運輸厚木)
浅井 義昭 (丸全昭和運輸)
旗町 達哉 (YBC)
原 健一郎 (SSXU 京浜支部)
高嶋 和人 (新栄運輸)
古越 健之 (日通湘南物流)
望月 博巳 (県連)



組織拡大行動感想！

今井：11月8日10時から東神トラックステーションで、労連パンフレットの配布、安全運転ピーアールを、7名の方が集まり行いました。天気も晴れてトラックも多かったです。しかし、駐車トラックの運転手さんは仮眠中で、半分以上はカーテンが閉じっぱなしでパンフレットをあまり配布できませんでした。

浅井：久しぶりの組織拡大行動に参加しました。

まず、東神TSの建物が変わりコンビニがはいっているので以前との違和感というか、もう少し駐車スペースを拡げられなかったのかと思いました。

行動においては、時間外労働への意識が依然として低く、尚且つ会社によって格差が大きいと感じました。労務管理をしっかりとやっている会社と全くやっていないような会社とに別れているようです。

やはり、そうした面からも労働組合が果たすべき役割は時代と共に変化はするものの、経営や労務管理へのチェック機能としての重要度は増すのではないかと思います。

旗町：県央地区連のクリーンキャンペーン以来の東神TSでした。掃除は普段から行われているようで、あの時よりはだいぶ空気が綺麗でした。今回は定型のアンケートは無かったので、最近の労働時間や休日の変化について、雑談のような感じでお聞きしました。

一様に休日が増えて労働時間も減ったと答えたドライバーさんが多くいましたが、給与については「変わらない」「少なくなった」とそれぞれに違いがあるようでした。最近、超ブラック企業から36協定を守る会社に転職したという30代の4トン車のドライバーさんは、「手取りは減ったけど、まともな会社なんで、長く勤められそう」と言っていました。また、「休みが増えても給与は変わらない」と言っていた50代の大型トラックのドライバーさんに「それなら良いですね」と返したら、「いや給与は増えてもらわな～あかん」と言われたのが印象的でした。そうですね。

原：今日は天候に恵まれ、東神トラックステーションの新しい施設で行動しました。
昨年度は、工事中のため利用する車両も限られていましたが、シンプルながら新しい施設はドライバー達を呼び戻したようです。最近の仕事環境などを教えていただき、運転時間のや労働時間の管理は以前より進んでいる印象は持ちました。しかし、他産業に比べればまだまだ不十分であり、時間外で稼がないと食べていけない等の声も強くあがりました。
基本給のアップが伴わなければ、管理が進むほど、ドライバー不足が進んでしまう悪循環となりそうです。いろいろな話をうかがい、勉強となる1日でした。

高嶋：今日は、天候にも恵まれたなかでの組織拡大行動を、東神トラックステーションで行いました。ドライバーさんに色々伺いましたが、この頃は残業させてもらえない、時間管理ができています。っていう方々もみられました。以前は歩合給、走ってナンボっていう方が多かったような…。
業界自体、少しは改善されているのだろうか!!
本日協力して頂いたドライバーさんありがとうございました。

古越：11/8東神トラックステーションにて運輸労連のパンフ配布をしました。とても暑く半袖でも良いくらいでした。トラックはほぼ埋まっていたがほとんどがカーテンを閉めて寝ている方ばかりでした。起きていられる方の中にはやはり超時間勤務されている方もいらっしゃるみたいでした。時間を少しずらしたりすると良いのかもしれないと思いました。



